

外国語学習指導案

学校名 府中市立国府小学校
授業者 T1 パワーアップリーダー 中國達彬
T2 ALT Joy Kathleen Tero

- 1 日時 平成30年7月6日(金)
- 2 学年 第5学年2組 29名
- 3 単元名 Unit6 「Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう」(Let's try2)
- 4 単元について

- 本単元は、4年生教材である『Let's try2』のUnit6に位置づけられている。児童は『Hi、friends1』のLesson6「What do you want?」でアルファベットの大文字については学習しているが、小文字について学習するのは本単元が初めてである。単元末には「Do you have~?」の表現を使って文字クイズを出し合う活動を設定しており、児童は楽しみながら小文字の名称を読んだり認識を深めたりすることができるようになる。また、文字クイズを通して互いに好きなロゴや色を伝え合うことで、外国語を使って自分の考えを伝えたり相手の考えを知ったりすることの喜びを感じることができる。単元の終わりには、身の周りにあるアルファベットを書き写し、それを身近な人に紹介することを通して、「話すこと」→「書くこと」→「話すこと」につなげることができる単元でもある。
- 本学級の児童に対して5月下旬に事前アンケートを行ったところ、29名中28名が「外国語活動の授業に進んで参加している」と回答した(否定的な回答をした1名の理由は「人前で発表することが苦手だから」)。一方、「英語でやり取りや発表をする時には、自分の考えを伝えている」の項目で9名が「あてはまらない」と回答し、3人に1人の児童が、英語を学習してもそれを使って自分自身を表現できていないと感じていることが分かった。また、「外国語の授業では、日本と外国のくらしや習慣、文化などのちがいを知ることができる」の項目でも、10名が「あてはまらない」と回答している。
- 指導にあたっての主な手立ては次の通りである。

単元を通して、身の回り物にはたくさんのアルファベットが溢れていることに気づかせ、それを話題にやり取りを仕組む。その際、十分に慣れ親しんだ語句や表現を使い、お気に入りのロゴや身の回りでよく目にするロゴについて「やり取り」ができるよう、指導者がモデルを示すとともに、話した内容に対して驚いたり、感心したりと共感的なフィードバックをすることで、子供の背中を押ししたり、言葉を使う勇気を与えたりすることを心がける。単元の終わりには、相手意識を持って意欲的に、ロゴについて「やり取り」ができるような場面設定を行う。また、これらの活動を通して、今まで気づけなかったアルファベットの文字に注目させ、自分たちのくらしに、アルファベット・ローマ字・英単語がたくさんあることを気付かせたい。

【本時について】

- ・新出表現(Do you have~?)の意味を理解させる際には、日本語の使用を避けることで児童の自発的な気付きを促すようにする。チャンツによって発音に十分に慣れ親しんだ後、T1とT2が身ぶりを交えながら「Do you have~?」を使ったやり取りを見せることで、児童がその意味を推測することができるようにする。

- ・「自分が好きなロゴや色を伝え合う活動（パート1）」を設定し、児童が自分の考えを伝え合うことができるようにする。特にロゴについては、児童自身が用意したもの（雑誌や広告、お菓子の箱等を切り抜いたもの）を使用することで、児童が主体的に外国の文字に関わることができるようにする。また、T1 や ALT から国内外の様々なロゴを紹介することで、外国の文化にふれる機会を増やす。
- ・「自分が好きなロゴや色を伝え合う活動（パート1）」を行う際には、指導者(ALT)と児童による Small Talk の場を設定することで当該表現を使った簡単なやり取りをする（見る）機会をつくる。その際、やり取りをある程度継続させるために、「繰り返し」(You like baseball.)や「応答」(Me, too.)、「質問」(Do you like soccer?) が重要であることを、指導者がやって見せながら伝えていくようにする。

5 単元目標

- 他者に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。
【外国語への慣れ親しみ】
- 身の回りには活字の文字であらわされているものがあることに気付く。
【言語や文化に関する気付き】

6 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
他者に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとしている。	活字体の小文字とその読み方に慣れ親しんでいる。	身の回りには活字の文字であらわされているものがあることに気付いている。


7 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	クイズを通して自分が好きなロゴや色について伝え合うことで、互いに理解を深めることの楽しさを味わう。
目指す発話例	Do you have a “s”? Yes, I do. “Station? Close. I have six letters. “School”? That’s right. I like “school”.

8 言語材料

主な表現	主な語彙
Do you have (a “b”)? Yes, I do. / No, I don’t. I have (a “b”).	・小文字 (a~z)

9 単元計画

時	目標（◆）、主なやり取り等 誌面化されている活動（・）	評価規準・評価方法
1	<p>身の回りでアルファベットが使われているものを探して、家族、友達、ALT に紹介しよう。</p> <p>◆絵の中に活字の文字であらわされているものがあることに気付く。 ★Small Talk (持っている物と持っていない物を尋ねる) ・Let’s Chant 「Do you have a pen?」 ・Let’s Watch and Think ・Let’s Sing 「ABC Song」 ・Let’s Chants 「Alphabet Chant」 ・Let’s Play 1 「アルファベットさがし」 ◎単元終末の活動を知る。 a~z (アルファベットの活字)</p>	<p>・身の回りには活字の文字であらわされているものがあることに気付いている。</p> 

2	<p>◆活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。</p> <p>★Small Talk (絵の中にあるアルファベット)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Let's Chant 「Do you have a pen?」 ・Let's Sing 「ABC Song」 ・Let's Chants 「Alphabet Chant」 ・Let's Listen ・ Let's Play 2 「アルファベットカルタ (おはじきゲーム)」 <p>a～z (アルファベットの小文字)</p>	<p>・活字体の小文字とその読み方に慣れ親しんでいる。</p>
3 本 時	<p>◆文字クイズをして、好きなロゴを伝え合う。</p> <p>★Small Talk (好きなロゴを紹介する パート1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Let's Chant 「Do you have a pen?」 ・Let's Sing 「ABC Song」 ・Let's Chants 「Alphabet Chant」 <p>A: Do you have (a "b")? B: Yes, I do. / No, I don't. A: I got it! "No.3". B: That's right.</p>	<p>・相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとしている。</p>
4	<p>◆身の回りのアルファベットを書き出し、それを見せながら、家族、友達、ALTに説明する。</p> <p>★Small Talk (好きなロゴを紹介する パート2) ※反応を入れる。</p> <p>A: Look at this! Pocky! P-o-c-k-y! B: P-o-c-k-y! I see. That is cool! I like it.</p>	<p>・身の回りのアルファベットを書き写している。</p> <p>・相手の説明を聞いた後、反応をさせる。</p>

10 本時の計画

(1) 目標

他者に配慮しながら、「Do you have～?」を使ってアルファベットの文字について伝え合おうとする。

(2) 評価規準

他者に配慮しながら、「Do you have～?」を使ってアルファベットの文字について伝え合おうとしている。

(3) 準備物

デジタル教科書、ロゴを紹介するためのワークシート、実物投影機

(4) 本時の展開

学習活動	●指導者の役割 ○発問・指示		●指導上の留意点 ☆評価規準 【評価方法】
	T1	T2 (ALT)	
1 挨拶をする。(1分)	○Hello! How are you?	●Greeting	
2 会話ゲームをする。(7分)	○Let's play "Do you like ? game".		●既習事項を活用させながら短い会話ができるようになることを目指す。
3 アルファベットの言い方を復習する。(7分) ・Let's sing 「ABC Song」 ・Let's Chant 「Alphabet Chant」	○Let's review. ・Let's sing 「ABC Song」. ・Let's Chant 「Alphabet Chant」.	●Sing with ss ●Chant with ss	●本時の課題を解決するための復習であることを確認してから活動に入る。

<p>4 本時の課題を把握する。(3分)</p>	<p>●T2 とのやり取りを見せる。</p> <div data-bbox="528 125 1157 405" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T1: Look at this card. What sign is this? (隠しているカードを一瞬見せる) T2: “Mazda”! T1: That’s right. I like this sign. It’s very cool T2: That’s good!</p> </div> <p>○先生たちはどんな話をしていたでしょうか。</p> <p>●課題を設定し、活動の見通しをもたせる。</p>	<p>●Talk with T1</p>	<p>●本時に関する内容に関するやり取りを見せることで、課題の設定に必然性をもつことができるようにする。</p>
<p>進んで好きなロゴを伝え合おう。</p>			
<p>5 「Do you have ~?」の意味に気付く。(7分)</p>	<p>●Let’s practice. ・Let’s chant「Do you have a pen?」. ●T2 とのやり取りを見せる。</p> <div data-bbox="557 947 1185 1070" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T1: Do you have a pen? T2: Yes, I do. Do you have a pen? T1: No, I don’t...</p> </div>		<p>●身ぶりを交えたT1とT2のやり取りを見せることで、「Do you have ~?」の意味に気付かせる。</p>
<p>6 アルファベットの文字について伝え合う。(15分)</p>	<p>●T2 とのやり取りを見せる</p> <div data-bbox="528 1229 1168 1964" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T1: Joy, I like this sign. What sign do you like? T2: My favorite sign? Try to guess! T1: Yes! ...But hint please. T2: Well Then, Let’s play “Moji quiz”. T1: “Moji quiz”? Please explain the rule of “Moji quiz”. T2: OK. ① Walk around and make pairs. ② Do JANKEN. ③ The winner asks questions. The other person answers. ④ Change the role. T1: Did you understand? ...OK! Please look at the demonstration.</p> </div>	<p>●Talk with T1</p>	<p>●児童が活動を具体的にイメージできるように、教師によるやり取りから活動の説明に入っていく。 ●「口頭での説明」→「教師によるデモンストレーション」→「教師と児童によるデモンストレーション」の順で活動方法についての説明を重ねることで、推測しながら聞く態度を育てる。</p>

<p>【文字クイズ】</p> <p>①各自、生活の中からアルファベットが使われたロゴを3つ用意し、事前にワークシートにはっておく。ただし、その中の1つだけを自分が好きなロゴにしておく。</p> <p>②ペアを作り、「Do you have a “(b)”?’の言い方を使いながら相手の好きなロゴについて質問する。相手の好きなロゴを当てることができれば勝ち。</p> <p>S1: Do you have a “f”?</p> <p>S2: No, I don't.</p> <p>S1: Oh.....Do you have a “y”?</p> <p>S2: That's right!</p>	<p>ワークシートイメージ図</p>		
	<p>○課題にある「進んで」とはどういう姿ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分から ・男女関係なく ・笑顔で <p>●ペアを変えながら会話するように指示する。全体を見ながら、つまずきのある児童に対して指導・支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●Pair Talk with various partners ●Support ss ●Encourage ss with praise 	
<p>7 Small Talk (5分)</p>	<p>○Any volunteers?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●Small Talk with ss 	<ul style="list-style-type: none"> ●T2 は基本的な型にリアクションや追加の質問を加えながら児童と会話する。
<p>8 本時のふりかえりをする。(5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●Please write the reflection. ●何人か発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●Reflection 	<p>☆評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとしている。【ワークシート】

1 1 板書計画

<p>アルファベットで遊ぼう</p> <p>進んで好きなロゴを伝え合おう。</p>	<p>教師用 ロゴ</p>	<p>教師用 ロゴ</p>
<p>Do you have ~? Yes, I do. No, I don't.</p>	<p>教師用 ロゴ</p>	<p>教師用 ロゴ</p>